



世界冬の都市市長会

World Winter Cities Association for Mayors

広報誌

日本語特別号

2008年11月発行

〈世界冬の都市市長会事務局〉

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市総務局国際部内 TEL 011-211-2032 FAX 011-218-5168

e-mail : wwcam@city.sapporo.jp URL : http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/

2010年

第14回世界冬の都市市長会議の開催計画案が明らかに!

～世界冬の都市市長会実務者会議実施報告～

世界冬の都市市長会では、2008年8月21日から22日までの日程で、実務者会議をカナダ、ブリティッシュ・コロンビア州北部のプリンス・ジョージ市で開催いたしました。

今回の実務者会議では、9カ国12都市の実務者が参加し、2010年に同市で開催が決定している第14回世界冬の都市市長会議の開催計画案のほか、本会の運営等について話し合いました。

プリンス・ジョージ市から発表された開催計画案によると、開催時期は2010年1月末を予定しており、これはちょうどバンクーバーで冬季オリンピックが開催される直前になります。市長会議のテーマは、従来から本会が取り扱ってきた地球温暖化問題等の環境問題を柱とし、併催される冬の都市フォーラムにおいてはより専門的な見地から、持続可能な環境、気候変動の影響、省エネルギー、代替エネルギー供給といったトピックが取り上げられることが計画されています。また、同じく併催される冬の見本市では文化的な要素も取り入れ、先住民との関係のほか、移民や異文化に対する取り組みなどの展示も予定されているとの報告がありました。

市長会議、冬の都市フォーラム及び冬の見本市が有機的に結びつき、一体性を持った魅力的なプログラムがプリンス・ジョージ市によって準備されています。



実務者会議で冒頭挨拶を行うプリンス・ジョージ市のコリン・キンズリー市長



プリンス・ジョージ市近郊の上空からの景色



コノート・ヒル・パーク内の花の絨毯



会議ではカナダの先住民の文化も紹介されました

○その他実務者会議で話し合われた内容

- 第13回(2008年)市長会議の会議結果報告(グリーンランド・ヌーク市による発表)
- 第15回(2012年)市長会議の開催市募集について
- 2009年実務者会議開催市の決定について
- その他、世界冬の都市市長会の運営に関する協議など



実務者会議で発表を行うプリンス・ジョージ市のボニー・ベイラー氏



プリンス・ジョージ市から開催計画案が発表された



メイン会場となる予定のシビック・センター



ノーザン・ブリティッシュ・コロンビア大学構内の掲示版



参加者はノーザン・ブリティッシュ・コロンビア大学を視察



北方保健科学センター内の視察の様子

○実務者会議参加都市

- (会員都市：12都市)
プリンス・ジョージ(カナダ)、長春、ハルビン、瀋陽(以上中国)、マールドゥ(エストニア)、ヌーク(グリーンランド)、札幌(日本)、太白、華川(以上韓国)、ウランバートル(モンゴル)、トロンソ(ノルウェー)、アンカレッジ(アメリカ)
- (オブザーバー)
フレイザー・フォートジョージ地方自治区、クレクレ・テネー・バンド(カナダ先住民)

冬の都市環境問題小委員会実施報告(札幌市)



小委員会で発表を行う札幌市環境局の宮佐課長

実務者会議に併せて、2006年に札幌市が設置してから第3回目となる標記小委員会を開催しました。その中で、この小委員会では今後、地球環境問題に関する市民啓発事例を中心に調査を行うことが示されました。その後、札幌市の市民啓発事例について紹介されたほか、市民啓発のための憲章の有無、市民啓発事例、共通キャンペーンの可能性等について会員都市から寄せられたア

ンケート結果が報告されました。そのアンケート結果に基づき小委員会から、各会員都市での共通キャンペーン実施の提案があり、出席者も賛同しました。

次に、プリンス・ジョージ市より事例発表があり、「賢明な都市開発法」及び「スイッチ・オフ・キャンペーン」が紹介されました。「賢明な都市開発法」には、プリンス・ジョージ市は2007年秋から参加し、まずは、市民啓発プログラムから着手しているとの報告がありました。また、「スイッチ・オフ・キャンペーン」は、公共施設における使用していない電源を抜く運動で、これをメディアが発信することによって市民の意識を高めているとの報告がありました。



プリンス・ジョージ市の事例を発表するマーク・フェルチョ氏



札幌市の取組事例の一つ「さっぽろエコ市民運動」

自治体の諸活動における環境保全活動調査小委員会（アンカレッジ市）



アンカレッジ市の事例発表を行うデイヴィット・ラムサール氏(右)とディック・スタローン氏(左)

本年1月のヌーク市長会議において設置が決定した標記小委員会の第1回が開催されました。最初に、事務局のアンカレッジ市より、同市が全米市長気候保護協定にアラスカ州で最初に署名したことなどを紹介しつつ環境問題を重視しているとの発表がありました。次に同市が実施したアンケート結果の報告及びアンカレッジ市の具体的な取組みについて紹介がありました。また、最終的には、会員都市による協定又は憲章の作成を目指すとの方針が示されました。

その後、トロムソ市から発表があり、退氷や海面上昇等が見られることの報告があるとともに、ごみの光学選別システムの導入や生体分解性の残留廃棄物をエネルギーに再生

する工場等が紹介されました。また、2020年までに1990年レベルの排気量を半減させる等のアクションプランを作成したとの報告がありました。



トロムソ市の事例発表を行うエイリン・ロードセット氏

アンカレッジ市からの報告

地球温暖化の影響を直接受け、世界冬の都市市長会の会員都市はその影響を減らすための地域レベルでの取組みを進めています。

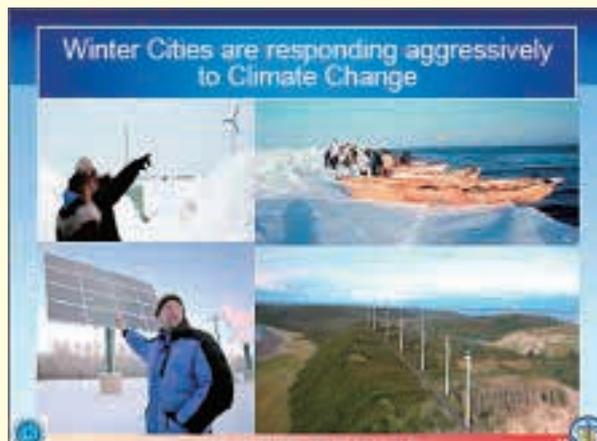
北方圏の各都市は無駄なエネルギー消費を抑え、リサイクルを推進し、そして市民が「エコ市民」になるような取組みを行っています。

以下は、世界冬の都市市長会において新たに設置された、「自治体の諸活動における環境保全活動調査小委員会」によるアンケート結果です。アラスカ州のアンカレッジ市に設置されたこの小委員会では、各会員都市に対して調査を実施し、2008年8月にカナダのプリティッシュ・コロンビア州にあるプリンス・ジョージ市で開催された世界冬の都市市長会実務者会議において暫定の調査結果を発表しました。

【調査結果】

- ・全ての会員都市とその会員都市市民が、地球温暖化を重要な問題であると認識している。
- ・地球温暖化の影響は多岐にわたり、気温上昇や、河川でのアイスジャムの発生、雪不足や干ばつのような季節的变化、高木限界の上昇、疫病の増加、氷河の後退、そして野生生物への影響などが見られる。
- ・世界冬の都市市長会の会員都市は、地球温暖化の影響を減らすために積極的に活動しており、エネルギー効率の高い都市交通の拡大、新しい照明の設置、リサイクルの推進、ビニール袋の使用禁止、市民に対して自転車利用の奨励、風力エネルギーのような代替エネルギーの利用促進等に取組んでいます。

将来的に、小委員会では、会員都市がさらに地球温暖化の影響を減らすよう、「憲章」を採択したり誓約を行うべきと考え、そのような提案を行う予定です。



次期実務者会議開催地紹介（ノルウェー・トロムソ市）

来年夏に実務者会議の開催を控えたトロムソ市から以下のメッセージが届いています！



トロムソ市街の夜景

ノルウェー北部の街、トロムソへようこそ。トロムソは北緯ほぼ70度に位置し、人口67,000人を抱えるこの地域では最大の都市です。伝統的に漁業と捕鯨の中心地として知られておりますが、ここ数十年はその傾向に変化が見られます。

今日、トロムソは北方地域における教育、研究及び文化活動の拠点となっており、全国でも優秀な市民が集う街でもあります。トロムソの多様な文化は、社会に活力と貢献を提供します。自然本来が生み出す美しい芸術作品は、オーロラの光を浴びながらその独特の形、色そして音を呈します。賑やかで楽しい催しに満ちた数々のお祭りは、市民や好奇心に満ちた観光客にさらなる刺激を与えます。トロムソの郷土料理は外国産の香辛料と融合して、地元産魚介類を素材とした芳しい香りを届けます。ナイトライフは人気も高く、国際色にあふれ、熱く、ユーモアに富み、そして魅力ある空間です。博物館や展覧会、そして伝統的な木造建築は創造力を養い、教育にも役立っております。



フィヨルドなどの雄大な自然はノルウェーならではの



ケーブルカーからはすばらしい眺めが楽しめます



通りはいつもたくさんの人々で賑わいます

新規入会都市紹介（韓国・華川郡）

新規入会都市の華川郡からは、以下のとおり同郡の都市紹介が寄せられました。



華川郡全景

韓国華川郡は、2008年7月1日に世界冬の都市市長会に入会いたしました。「環境パラダイスー華川」として知られており、ソウルの北東125kmに位置し、人口は2万4千人です。

華川郡は韓国の最北端（北緯38度）にあります。全体の85%が山地であるために、内陸気候に属しております。山地の特性のとおり、華川郡も天然で美しい自然環境、そして新鮮な水と空気に恵まれている地域です。

地理的には北朝鮮と接しているため、各国の首相や指導者が華川郡を来訪し、朝鮮半島における悲劇的事態を解決し、全世界の平和を目指して、この地における戦闘状態が終息することを願っております。

イデオロギー、人種そして宗教問題をめぐって紛争が勃発している13カ国から、空の薬莖を収集しております。華川郡はそれらを解体し、「平和の鐘」を造っております。そして世界平和の願いが込められているその鐘は、韓国と北朝鮮の間に横たわる非武装地帯に設置されています。また、ノーベル平和賞受賞者からのメッセージも、北と南の和解に寄与すべく、平和の鐘公園及び平和芸術公園に展示されております。

さらに、華川郡は韓国を代表する「祭りのまち」でもあります。「碑木文化祭り」、「丸木舟祭り」、「トマト祭り」、そして「ヤマメ氷祭り」が有名です。特に「ヤマメ氷祭り」はアジアの祭りの中でも注目を浴びており、毎年100万人以上の集客があります。



ヤマメ氷祭りの様子



世界冬の都市市長会とは

「世界冬の都市市長会」は、“冬は資源であり、財産である”というスローガンのもと、世界の冬の都市が集まり、冬の技術や経験を学びあうためのネットワークです。以前は、北方都市市長会議と呼ばれ、1981年に札幌市が提唱し、翌年に第1回の市長会議を開催したのが始まりです。2004年に名称を「世界冬の都市市長会」に変更しました。

これまでの会議では、都市計画、冬の都市交通、除排雪、リサイクル、冬の観光資源開発などについて市長同士がそれぞれの都市の知恵と経験を共有し、まちづくりのアイデアや厳しい気象条件を克服する手立てを学んできました。近年の会議では特に、地球温暖化問題などの環境問題に力を入れて取り組んでいます。



第13回市長会議（於：グリーンランド・ヌーク市）での上田会長（札幌市長、写真右）

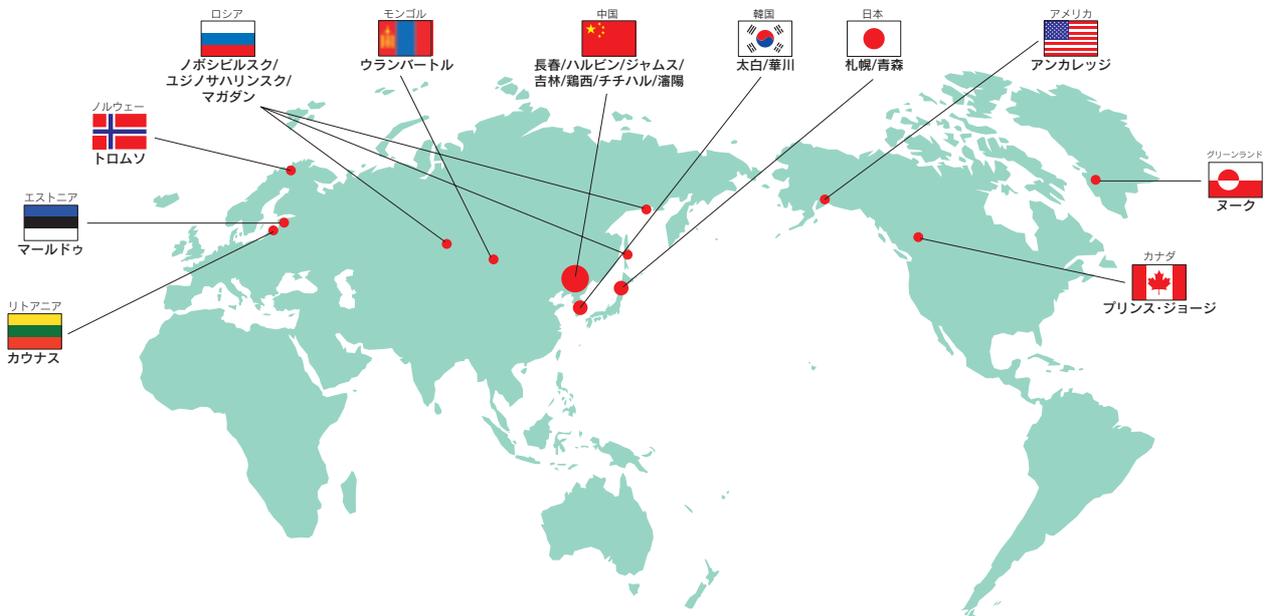
冬の都市とは

積雪または寒冷という気象条件のもとでまちづくりを行う都市。

積雪の基準 … 1年間のうちで積雪量の最大値が概ね20cm(8インチ)以上となること。

寒冷の基準 … 1年間のうちでもっとも寒い月の平均気温が概ね摂氏0度(華氏32度)以下となること。

会員都市 11カ国21都市（2008年11月現在）



主な活動内容

市長会議

世界冬の都市市長会の主要事業であり、2年に1度開催されます。これまで13回の会議が開催されており、地球環境問題、都市計画、冬の都市交通、除排雪などについて、市長同士が先駆都市の知恵と経験を共有し、“まちづくり”へのヒントや厳しい気象条件を克服する手立てを学んできました。市長会議は、市長自らが各都市の取組み事例を紹介し、市長同士が膝を交えて率直な意見交換を行う格好の機会となっています。



市長会議の様子(第12回長春会議)



冬の見本市・冬の都市フォーラム

冬の見本市・冬の都市フォーラムは、市長会議と併せて行われる、併催事業です。

「冬の見本市」は、開催市および会員都市の企業や団体が中心となって、冬や雪に関連する機材や製品の展示をはじめ、様々な技術の紹介を行うものです。

「冬の都市フォーラム」は様々な分野の専門家や学術研究者、あるいは市民が、日頃の研究成果について発表を行う学術交流の場です。1988年の第3回会議から併催されるようになり、世界冬の都市市長会議は、大きなイベントに発展しました。



冬の見本市(第11回アンカレッジ会議)

小委員会

冬の都市の状況や先進事例を調査・研究する機関です。

これまでに、「リサイクル小委員会」、「観光促進小委員会」、「雪対策小委員会」、「自然災害対策小委員会」、「持続可能な冬の都市づくり小委員会」等が設置され、それぞれのテーマに基づいて調査・研究成果をまとめています。

現在は「冬の都市環境問題小委員会(事務局:札幌市)」及び「自治体の諸活動における環境保全活動調査小委員会(事務局:アンカレッジ市)」が活動しており、「地球規模の環境問題」を切り口に、環境教育や自動車問題といった身近な問題から、大気汚染や水質汚濁などの公害対策技術、省エネルギー技術の先進事例の収集まで幅広い活動を行っています。また、最新の活動状況を世界冬の都市市長会のウェブページにて発信しております。



小委員会報告書

実務者会議

会員都市の行政実務者が集まり、次期市長会議の開催計画やテーマ、市長会の運営などについて協議する会議です。毎年行われています。

会員になるには

- 入会手続き：会員になるには、入会しようとする都市の市長が会長に入会を申請し、役員会で入会が決定されます。
 - 会費：会員都市は、都市人口と国民1人あたりの国内総生産額（GDP）を基準として算出される年会費を払わなければなりません。ただし、入会初年度の会費納入金額は、年会費の半額となります。
 - 会員になると：会員になると、市長会議などの活動に積極的に参加し、冬のまちづくりに生かしていただくことが期待されます。さらに、冬の都市のネットワークを国際交流に生かすことができます。
- 申込み先：世界冬の都市市長会事務局 TEL.011-211-2032

最新の会議内容やこれまでの成果についての詳しい情報を、世界冬の都市市長会のホームページに掲載していますので、是非ご覧下さい。(http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/) 世界冬の都市市長会は会員都市を募集しています。加入の詳しい要件などについては、世界冬の都市市長会事務局までお問い合わせください。

